

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI2Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・シンガポール・リミテッドが運用を行います。	
主要運用対象	Navio インド債券 ファンド	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI2Jクラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	アムンディ・ インディア・ ボンド・ ファンドー I2Jクラス	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
	マネー・ マーケット・ マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# Navio インド債券ファンド



第48期（決算日：2016年4月18日）  
 第49期（決算日：2016年5月18日）  
 第50期（決算日：2016年6月20日）  
 第51期（決算日：2016年7月19日）  
 第52期（決算日：2016年8月18日）  
 第53期（決算日：2016年9月20日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「Navio インド債券ファンド」は、去る9月20日に第53期の決算を行いましたので、法令に基づいて第48期～第53期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034  
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)  
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## Navio インド債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

## 投資対象ファンドのご報告

◇アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラス	15
◇マネー・マーケット・マザーファンド	19

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
24期(2014年4月18日)	10,747		50	3.0	0.1	—	97.2	1,067
25期(2014年5月19日)	10,962		50	2.5	0.1	—	98.0	1,097
26期(2014年6月18日)	10,975		50	0.6	0.1	—	98.2	1,142
27期(2014年7月18日)	10,876		50	△0.4	0.1	—	98.5	1,150
28期(2014年8月18日)	10,816		50	△0.1	0.1	—	97.9	1,149
29期(2014年9月18日)	11,373		50	5.6	0.1	—	98.2	1,188
30期(2014年10月20日)	11,185		50	△1.2	0.1	—	97.3	1,171
31期(2014年11月18日)	12,226		50	9.8	0.1	—	98.0	1,271
32期(2014年12月18日)	12,009		50	△1.4	0.1	—	97.7	1,250
33期(2015年1月19日)	12,324		50	3.0	0.1	—	97.3	1,287
34期(2015年2月18日)	12,389		50	0.9	0.1	—	97.6	1,302
35期(2015年3月18日)	12,591		50	2.0	0.1	—	97.4	1,334
36期(2015年4月20日)	12,418		50	△1.0	0.1	—	97.5	1,325
37期(2015年5月18日)	12,127		50	△1.9	0.1	—	98.1	1,297
38期(2015年6月18日)	12,450		50	3.1	0.1	—	98.0	1,244
39期(2015年7月21日)	12,572		50	1.4	0.1	—	97.3	1,263
40期(2015年8月18日)	12,330		50	△1.5	0.1	—	98.0	1,241
41期(2015年9月18日)	11,776		50	△4.1	0.1	—	97.1	1,194
42期(2015年10月19日)	12,031		50	2.6	0.1	—	97.5	1,228
43期(2015年11月18日)	12,215		50	1.9	0.1	—	97.3	1,258
44期(2015年12月18日)	12,031		50	△1.1	0.1	—	97.9	1,235
45期(2016年1月18日)	11,254		50	△6.0	0.1	—	98.0	1,168
46期(2016年2月18日)	10,823		50	△3.4	0.0	—	97.6	1,126
47期(2016年3月18日)	10,864		50	0.8	0.1	—	98.5	1,136
48期(2016年4月18日)	10,765		50	△0.5	0.1	—	98.4	1,126
49期(2016年5月18日)	10,711		50	△0.0	0.0	—	98.1	1,123
50期(2016年6月20日)	10,181		50	△4.5	0.0	—	98.1	1,065
51期(2016年7月19日)	10,413		50	2.8	0.0	—	98.5	1,086
52期(2016年8月18日)	10,037		50	△3.1	0.0	—	98.2	1,049
53期(2016年9月20日)	10,150		50	1.6	0.0	—	97.2	1,055

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	託 券 率
			騰 落 率	率				
第48期	(期 首)	円		%	%	%	%	%
	2016年3月18日	10,864	—	—	0.1	—	—	98.5
	3月末	11,095	2.1	—	0.1	—	—	98.6
第49期	(期 末)							
	2016年4月18日	10,815	△0.5	—	0.1	—	—	98.4
	4月末	11,000	2.2	—	0.1	—	—	98.4
第50期	(期 首)							
	2016年5月18日	10,761	△0.0	—	0.0	—	—	98.1
	5月末	10,860	1.4	—	0.0	—	—	98.1
第51期	(期 末)							
	2016年6月20日	10,231	△4.5	—	0.0	—	—	98.1
	6月末	10,181	—	—	0.0	—	—	98.1
第52期	(期 首)							
	2016年7月19日	10,413	—	—	0.0	—	—	98.5
	7月末	10,394	△0.2	—	0.0	—	—	98.5
第53期	(期 末)							
	2016年8月18日	10,087	△3.1	—	0.0	—	—	98.2
	8月末	10,037	—	—	0.0	—	—	98.2
第54期	(期 首)							
	2016年9月20日	10,200	1.6	—	0.0	—	—	97.2
	8月末	10,259	2.2	—	0.0	—	—	98.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

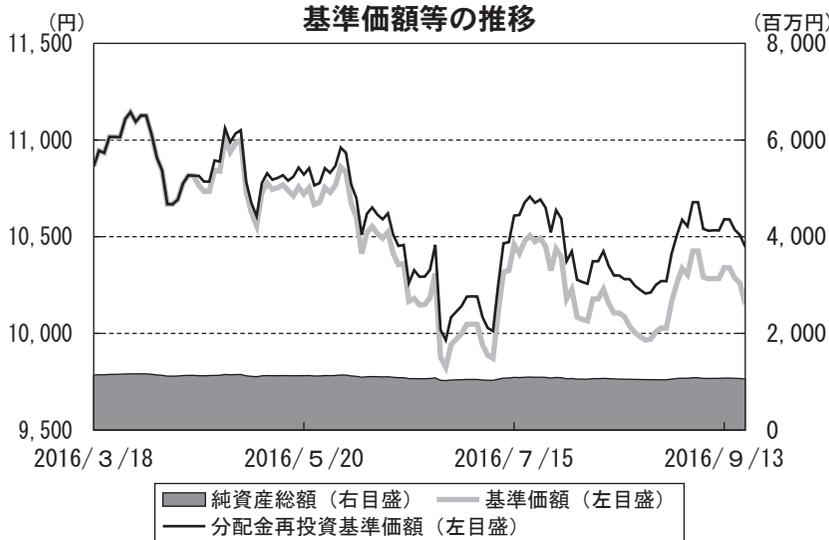
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.8% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	インドルピー建てインド債券市況が上昇 (利回りは低下) したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	インドルピーが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

金利の推移

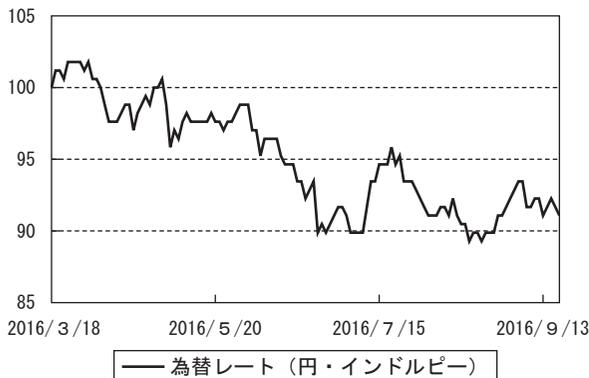


(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・インドルピー建てのインド債券市場では、当作成期首から2016年6月中旬にかけてインド金利はもみ合いで推移しました。その後、当作成期末にかけては、モンスーン期の降雨量に対する懸念が後退したこと、インド準備銀行（中央銀行）が公開市場操作などを通じて債券市場の流動性を高めるとの期待が広がったことなどが影響し、インド金利は低下基調で推移しました。その結果、当作成期を通じて見ると、インド金利は低下しました。
- ・米ドル建てのインド債券市場では、原油価格の上昇や米国の利上げ観測が一時後退したことなどを背景に市場心理が改善したことなどから、当作成期を通じて見ると、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米国の利上げ観測が一時後退したこと、2016年6月に英国のEU（欧州連合）離脱懸念の高まりを背景にリスク回避の動きが強まったことなどが影響し、円高が進行したことなどから、当作成期を通じて見ると、インドルピーは対円で下落しました。

## ◎国内短期金融市場

- ・ 当作成期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、2016年1月末に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」で決定した-0.1%金利の適用開始以降であることから、概ねマイナス圏で推移しました。9月20日のコール・レートは-0.060%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

## &lt;N a v i o インド債券ファンド&gt;

- ・ 円建て外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスへの投資を通じて、インドの債券などを高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・ 当作成期は、インドルピー建てインド債券市況が上昇したものの、インドルピーが対円で下落したことなどが影響し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

## &lt;アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラス&gt;

基準価額は当作成期首に比べ3.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## ◎種別構成など

- ・ インド関連の発行体が発行するインドルピー建て債券や米ドル建て債券などを組み入れたポートフォリオで運用しました。インドルピー建て債券については、流動性などを勘案し、国債を中心に事業債や政府機関債などを組み入れて運用しました。米ドル建て債券については、ファンダメンタルズが良好と考えるインド関連の発行体が発行する事業債を中心に、国際機関債を一部組み入れて運用しました。
- ・ 米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物を売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを概ね回避しました。為替については、米ドル売りインドルピー買いの為替取引を行い、インドルピーの比率を高位としました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、インドルピー建てインド債券市況が上昇したことなどは基準価額の上昇要因となった一方、インドルピーが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

(ご参考)

**利回り・デュレーション**

作成期首（現地2016年3月17日）

作成期末（現地2016年9月19日）

最終利回り	5.3%	➔	最終利回り	4.8%
デュレーション	3.4年		デュレーション	3.3年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。

- ・残存期間の短い国債や社債などを組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどから、基準価額は上昇となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.462%	0.465%	0.489%	0.478%	0.496%	0.490%
当期の収益	50	50	50	50	49	50
当期の収益以外	—	—	—	—	0	—
翌期繰越分配対象額	3,166	3,171	3,176	3,185	3,184	3,188

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <N a v i o インド債券ファンド>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き円建て外国投資信託への投資を通じてインドの債券などを高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

### <アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラス>

#### ◎運用環境の見通し

- ・インド債券市場では、世界的に各国中央銀行が概ね緩和的な金融政策を継続すると見られること、インドのファンダメンタルズが新興国の中で相対的に良好であることなどを背景に、海外からの資金流入が期待できることなどがプラス材料である一方、インド金利の低下基調が進んだことなどから、もう一段の金利低下余地が少なくなっていると考えます。
- ・為替市場では、中長期的には、インドの構造改革が進展すると見込まれること、相対的に良好なファンダメンタルズや金利水準等を背景にインド債券市場に対する資金流入が継続すると見込まれることなどから、インドルピーは対米ドルや対円で比較的底堅く推移すると考えます。

#### ◎今後の運用方針

- ・インドの債券などに投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合については、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。また、米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物を売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを回避します。
- ・インドルピー建て債券の組み入れを高めとし、債券種類別では国債のほか、財務基盤が優良だと考える政府機関債などや事業債も組み入れて運用します。また、インドルピー建て債券については、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味がある则认为る中期ゾーンの債券を選好します。

### <マネー・マーケット・マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が下落したことや為替が円高に推移した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、デフレ脱却に向けて日銀は金融緩和政策を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、コール・ローン等短期金融商品や残存期間の短い社債などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざしていく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月19日～2016年9月20日)

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(19)	(0.180)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(42)	(0.398)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	63	0.601	
作成期中の平均基準価額は、10,596円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年3月19日～2016年9月20日)

## 投資信託証券

銘 柄	第48期～第53期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	千口	千円	千口	千円
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-12Jクラス	—	—	1	16,380

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年3月19日～2016年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 900	百万円 —	百万円 —	百万円 900	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第47期末		第53期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス			千口 110		千口 108	千円 1,026,261	% 97.2
合	計		110		108	1,026,261	97.2

(注) 比率はN a v i o インド債券ファンドの純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘	柄	第47期末		第53期末		
		口	数	口	数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 885		千口 885	千円 901

## ○投資信託財産の構成

(2016年9月20日現在)

項	目	第53期末	
		評 価 額	比 率
投資信託受益証券		千円 1,026,261	% 96.5
マネー・マーケット・マザーファンド		901	0.1
コール・ローン等、その他		35,825	3.4
投資信託財産総額		1,062,987	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
	2016年4月18日現在	2016年5月18日現在	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月18日現在	2016年9月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,132,840,914	1,129,883,997	1,074,596,596	1,092,464,857	1,056,306,561	1,062,987,102
コール・ローン等	23,935,291	27,267,581	28,031,272	21,735,736	24,747,154	19,443,872
投資信託受益証券(評価額)	1,108,003,852	1,101,714,645	1,045,663,464	1,069,827,261	1,030,657,636	1,026,261,370
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	901,771	901,771	901,860	901,860	901,771	901,860
未収入金	—	—	—	—	—	16,380,000
(B) 負債	6,392,137	6,649,576	8,802,303	6,215,423	6,385,341	7,064,801
未払収益分配金	5,231,896	5,243,433	5,234,171	5,215,834	5,230,250	5,201,552
未払解約金	4,711	300,000	2,372,634	—	104,890	720,135
未払信託報酬	1,152,361	1,103,067	1,192,211	996,848	1,047,321	1,139,985
未払利息	34	50	47	34	35	30
その他未払費用	3,135	3,026	3,240	2,707	2,845	3,099
(C) 純資産総額(A-B)	1,126,448,777	1,123,234,421	1,065,794,293	1,086,249,434	1,049,921,220	1,055,922,301
元本	1,046,379,315	1,048,686,752	1,046,834,253	1,043,166,942	1,046,050,002	1,040,310,426
次期繰越損益金	80,069,462	74,547,669	18,960,040	43,082,492	3,871,218	15,611,875
(D) 受益権総口数	1,046,379,315口	1,048,686,752口	1,046,834,253口	1,043,166,942口	1,046,050,002口	1,040,310,426口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,765円	10,711円	10,181円	10,413円	10,037円	10,150円

## ○損益の状況

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,282,150	6,947,407	6,932,193	6,287,978	6,177,164	6,062,945
受取配当金	7,282,184	6,948,547	6,933,306	6,288,791	6,177,877	6,063,690
受取利息	—	—	22	9	7	—
支払利息	△ 34	△ 1,140	△ 1,135	△ 822	△ 720	△ 745
(B) 有価証券売買損益	△ 11,275,024	△ 6,299,630	△ 55,952,497	24,130,654	△ 39,170,978	11,966,696
売買益	103	8,116	98,693	24,197,575	6,439	12,005,970
売買損	△ 11,275,127	△ 6,307,746	△ 56,051,190	△ 66,921	△ 39,177,417	△ 39,274
(C) 信託報酬等	△ 1,155,496	△ 1,106,093	△ 1,195,451	△ 999,555	△ 1,050,166	△ 1,143,084
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 5,148,370	△ 458,316	△ 50,215,755	29,419,077	△ 34,043,980	16,886,557
(E) 前期繰越損益金	49,447,274	38,971,915	33,165,147	△ 22,154,333	2,046,637	△ 36,843,415
(F) 追加信託差損益金	41,002,454	41,277,503	41,244,819	41,033,582	41,098,811	40,770,285
(配当等相当額)	( 86,271,998)	( 87,615,519)	( 87,803,076)	( 88,075,185)	( 89,280,758)	( 89,979,296)
(売買損益相当額)	(△ 45,269,544)	(△ 46,338,016)	(△ 46,558,257)	(△ 47,041,603)	(△ 48,181,947)	(△ 49,209,011)
(G) 計(D+E+F)	85,301,358	79,791,102	24,194,211	48,298,326	9,101,468	20,813,427
(H) 収益分配金	△ 5,231,896	△ 5,243,433	△ 5,234,171	△ 5,215,834	△ 5,230,250	△ 5,201,552
次期繰越損益金(G+H)	80,069,462	74,547,669	18,960,040	43,082,492	3,871,218	15,611,875
追加信託差損益金	41,002,454	41,277,503	41,244,819	41,033,582	41,098,811	40,770,285
(配当等相当額)	( 86,271,998)	( 87,615,519)	( 87,803,076)	( 88,075,185)	( 89,280,758)	( 89,979,296)
(売買損益相当額)	(△ 45,269,544)	(△ 46,338,016)	(△ 46,558,257)	(△ 47,041,603)	(△ 48,181,947)	(△ 49,209,011)
分配準備積立金	245,016,944	245,018,647	244,748,039	244,181,072	243,806,827	241,767,906
繰越損益金	△205,949,936	△211,748,481	△267,032,818	△242,132,162	△281,034,420	△266,926,316

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首(前作成期末)元本額 1,045,900,594円  
 作成期中追加設定元本額 19,489,634円  
 作成期中一部解約元本額 25,079,802円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0150円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
費用控除後の配当等収益額	6,126,827円	5,841,533円	5,736,974円	6,081,515円	5,127,147円	5,678,638円
費用控除後・繰越欠損金繰戻後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	86,271,998円	87,615,519円	87,803,076円	88,075,185円	89,280,758円	89,979,296円
分配準備積立金額	244,122,013円	244,420,547円	244,245,236円	243,315,391円	243,909,930円	241,290,820円
当ファンドの分配対象収益額	336,520,838円	337,877,599円	337,785,286円	337,472,091円	338,317,835円	336,948,754円
1万円当たり収益分配対象額	3,216円	3,221円	3,226円	3,235円	3,234円	3,238円
1万円当たり分配金額	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	5,231,896円	5,243,433円	5,234,171円	5,215,834円	5,230,250円	5,201,552円

## ○分配金のお知らせ

	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(6,227,668千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第53期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	1,077,900 (1,077,900)	1,080,808 (1,080,808)	17.0 (17.0)	— (—)	— (—)	— (—)	17.0 (17.0)
合 計	1,077,900 (1,077,900)	1,080,808 (1,080,808)	17.0 (17.0)	— (—)	— (—)	— (—)	17.0 (17.0)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第53期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,056	2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	200,704	2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,154	2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,226	2016/12/2
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,045	2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,246	2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,377	2017/1/27
合 計		1,077,900	1,080,808	

## 国内その他有価証券

区 分	第53期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 4,999,990	% 78.8

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12 Jクラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主としてインドの現地通貨建て債券等に投資することにより安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合には、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体が発行する社債および短期金融商品への投資比率は、純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・一銘柄あたりの投資比率は、発行残高の10%以下とします。</li> <li>・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。</li> <li>・純資産総額の50%以上を、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する債券または短期金融商品に投資するものとします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> <li>・有価証券先物取引等を行うことができます。</li> <li>・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。</li> <li>・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。</li> </ul>
決算日	原則として、毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として、毎月最終営業日に経費控除後の利子収益および売買益等から分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書、投資家持分純資産、投資有価証券明細表はAMUNDI PREMIA-AMUNDI INDIAN BOND FUND FINANCIAL STATEMENTS 31 December 2015版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、アムンディ・インディア・ボンド・ファンドで掲載しています。

**(1) 損益計算書 (STATEMENT OF TOTAL RETURN)**

**(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド**

(2015年12月31日終了年度)

米ドル

**控除：費用**

監査費用	11,612
カストディアン費用	8,807
運用報酬	185,613
助言費用	7,988
登録費用	7,130
信託費用	37,206
取引費用	1,250
その他費用	50,738
	<u>310,344</u>

**純支出**

(310,344)

**投資収益**

実現損益	224,679
外国為替先渡取引実現損益	(11,142)
先物取引実現損益	(34,459)
外国為替取引実現損益	(74,602)
	<u>104,476</u>

**税引き前損益**

(205,868)

**控除：所得税**

(87,141)

**税引き後配当前収益**

(293,009)

**(B) マネー・マーケット・マザーファンド**

24頁の損益の状況をご参照ください。

**(2) 投資家持分純資産**

(2015年12月31日終了年度)

米ドル

<b>決算期初における投資家持分純資産</b>	13,362,096
<b>オペレーション</b>	
オペレーションにより変化した投資家持分純資産	(293,009)
<b>投資行動による投資家持分純資産の増減</b>	
設定	43,828,125
解約	(28,475,614)
設定解約による投資家持分純資産の増減	15,352,511
分配金額	(1,101,060)
投資家持分純資産の増加/(減少)合計額	13,958,442
<b>決算期末における投資家持分純資産</b>	27,320,538

(3) 投資有価証券明細表

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2015年12月31日現在)

業種別	保有額面	時価評価	投資家持分 純資産対比
		米ドル	%
<b>時価評価債券</b>			
<b>銀行</b>			
Asian Development Bank GMTN 1.125% 05/06/2018	1,500,000	1,493,003	5.46
Asian Development Bank GMTN 2.25% 18/08/2017	1,500,000	1,527,188	5.59
HDFC Bank Limited EMTN REG 3% 06/03/2018	600,000	605,153	2.22
		<u>3,625,344</u>	<u>13.27</u>
<b>電力</b>			
NTPC Ltd EMTN 5.625% 14/07/2021	800,000	874,412	3.20
Nuclear Power Corporation of India Ltd 8.14% 25/03/2026	150,000,000	2,259,242	8.27
		<u>3,133,654</u>	<u>11.47</u>
<b>金融</b>			
Power Finance Corporation limited Series 125 8.65% 28/12/2024	100,000,000	1,539,310	5.63
<b>政府</b>			
Government of India 7.28% 03/06/2019	100,000,000	1,496,480	5.48
Government of India 8.12% 10/12/2020	50,000,000	767,706	2.81
Government of India 8.15% 24/11/2026	250,000,000	3,817,704	13.97
Government of India 8.19% 16/01/2020	100,000,000	1,539,159	5.63
Government of India 8.24% 10/11/2033	100,000,000	1,529,659	5.60
Government of India 8.28% 21/09/2027	50,000,000	770,547	2.82
		<u>9,921,255</u>	<u>36.31</u>
<b>石油ガス</b>			
Bharat Petroleum Corporation Ltd 4.625% 25/10/2022	200,000	206,140	0.75
ONGC Videsh Ltd 2.5% 07/05/2018	800,000	794,688	2.91
Reliance Holding USA Incorporation 5.4% 14/02/2022	500,000	543,233	1.99
Reliance Industries Ltd 4.125% 28/01/2025	1,200,000	1,177,008	4.31
		<u>2,721,069</u>	<u>9.96</u>
<b>政府機関</b>			
Food Corporation of India 9.95% 07/03/2022	100,000,000	1,625,289	5.95
<b>公益</b>			
Power Grid Corporation of India 3.875% 17/01/2023	500,000	496,882	1.82
Power Grid Corporation of India 8.2% 23/01/2025	100,000,000	1,497,092	5.48
		<u>1,993,974</u>	<u>7.30</u>
未収経過利息		509,073	1.86
投資資産		25,068,968	91.75
その他純資産		2,251,570	8.25
投資家持分純資産		<u>27,320,538</u>	<u>100.00</u>

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

22頁の組入資産の明細をご参照ください。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第23期》決算日2016年5月20日

[計算期間：2015年11月21日～2016年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第23期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
19期(2014年5月20日)	10,180	0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183	0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2015年11月20日	10,185	—	91.2	—	—
11月末	10,184	△0.0	59.9	—	—
12月末	10,183	△0.0	93.0	—	—
2016年1月末	10,183	△0.0	98.5	—	—
2月末	10,183	△0.0	50.5	—	—
3月末	10,182	△0.0	68.5	—	—
4月末	10,183	△0.0	67.0	—	—
(期末) 2016年5月20日	10,183	△0.0	39.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

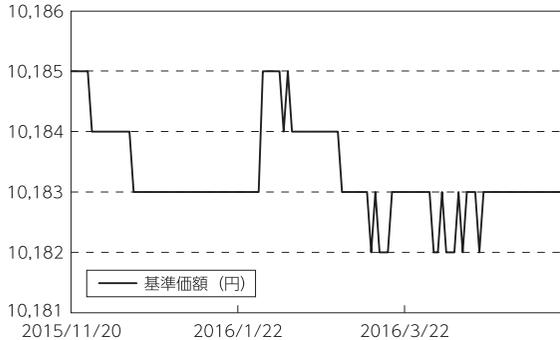
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。2016年1月末に日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、日銀当座預金のうち政策金利残高に適用する金利を-0.1%としました。コール・レート(無担保・翌日物)は、当該金利にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、5月20日のコール・レートは-0.053%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が小幅に下落したことなどから基準価額は下落しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い社債などに投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年11月21日～2016年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年11月21日～2016年5月20日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,120,795	千円 20,330,370 (7,992,600)
	特殊債券	601,257	— (200,000)
	社債券	1,586,979	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 68,999,961	千円 65,999,968

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年11月21日～2016年5月20日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 4,809	百万円 —	% —	百万円 19,830	百万円 1,999	% 10.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2016年5月20日現在)

## 国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	183,750	183,838	3.3	—	—	—	3.3
金融債券	400,000	400,320	7.2	—	—	—	7.2
	( 400,000)	( 400,320)	( 7.2)	(—)	(—)	(—)	( 7.2)
普通社債券	1,577,900	1,584,386	28.5	—	—	—	28.5
	(1,577,900)	(1,584,386)	(28.5)	(—)	(—)	(—)	(28.5)
合 計	2,161,650	2,168,544	39.0	—	—	—	39.0
	(1,977,900)	(1,984,706)	(35.7)	(—)	(—)	(—)	(35.7)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>	%	千円	千円	
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,037	2016/7/15
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,801	2016/8/15
小 計		183,750	183,838	
<b>金融債券</b>				
い第735号商工債券	0.4	300,000	300,312	2016/8/26
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,008	2016/5/27
小 計		400,000	400,320	
<b>普通社債券</b>				
第490回関西電力	0.718	100,000	100,049	2016/6/20
第355回中国電力	1.52	200,000	200,774	2016/8/25
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,362	2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	201,192	2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,320	2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,640	2016/12/2
第17回ニコン	1.65	100,000	100,139	2016/6/23
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,135	2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,906	2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,705	2017/1/27
第17回電源開発	2.07	100,000	100,164	2016/6/20
小 計		1,577,900	1,584,386	
合 計		2,161,650	2,168,544	

国内その他有価証券

区 分	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
コマーシャル・ペーパー	千円	%		
	2,999,995	53.9		

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2016年5月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
公社債	千円	%		
	2,168,544	39.0		
その他有価証券	2,999,995	53.9		
コール・ローン等、その他	394,603	7.1		
投資信託財産総額	5,563,142	100.0		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,563,142,682
コール・ローン等	389,098,836
公社債(評価額)	2,168,544,627
その他有価証券(評価額)	2,999,995,107
未収利息	3,637,299
前払費用	1,866,813
(B) 負債	672,118
未払解約金	670,530
未払利息	633
その他未払費用	955
(C) 純資産総額(A-B)	5,562,470,564
元本	5,462,308,836
次期繰越損益金	100,161,728
(D) 受益権総口数	5,462,308,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 27,329,169,583円  
 期中追加設定元本額 1,544,863,883円  
 期中一部解約元本額 23,411,724,630円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	249,380,519円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	334,011,007円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,042円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,363,253円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円

## ○損益の状況 (2015年11月21日~2016年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,329,010
受取利息	4,361,071
支払利息	△ 32,061
(B) 有価証券売買損益	△ 5,334,236
売買益	191,600
売買損	△ 5,525,836
(C) 保管費用等	△ 955
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,006,181
(E) 前期繰越損益金	504,860,995
(F) 追加信託差損益金	28,297,685
(G) 解約差損益金	△431,990,771
(H) 計(D+E+F+G)	100,161,728
次期繰越損益金(H)	100,161,728

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	217,654円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンド>	24,781,723円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	945,824円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンド>	3,491,872円
三菱UF J	欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	47,026,508円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		10,884円
三菱UF J	米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UF J	米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	20,181,510円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	109,209円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UF J	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	442,974円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UF J	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UF J	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)		1,936,118円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)		9,829円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,347,787円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	163,666円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンドA>	978,045円
三菱UF J	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーベースファンドB>	979,977円
三菱UF J	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円

三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 859, 081円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1, 168, 184円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2, 065, 331円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン C コース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン D コース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UF J / UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982, 608円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256, 356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2, 827, 156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9, 387, 547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3, 545, 187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 124, 755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2, 990, 177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3, 377, 211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	357, 495円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168, 922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	3, 874, 252円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	6, 578, 018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9, 991, 470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1, 616, 484円
三菱UF J / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25, 537, 767円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42, 906, 470円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8, 585, 548円
N a v i o インド債券ファンド	885, 566円
N a v i o マネーボールファンド	1, 561, 630円
三菱UF J インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11, 276, 260円
マネーボールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9, 898, 381円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	8, 107, 178円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン A コース (為替ヘッジなし)	10, 766, 608円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン B コース (為替ヘッジあり)	21, 620, 196円
三菱UF J バランス・イノベーション (債券重視型)	365, 273, 064円
三菱UF J / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11, 293, 333円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6, 324, 266円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3, 063, 931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1, 375, 824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1, 071, 396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491, 015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918, 198円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138, 468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10, 804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10, 804円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UF J バランス・イノベーション (株式抑制型)	3, 276, 286, 700円
三菱UF J DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	42, 678, 508円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	255, 538, 832円
三菱UF J グローバル好利回りCBファンド2013-09 (円ヘッジ) (限定追加型)	196, 405, 776円
合計	5, 462, 308, 836円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため（分散型に分類）、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。

(2016年3月16日)